

参加者感想

【参加期間】 2015年 11月 21日 ~ 11月 27 日

【参加されたプログラム名】 ベトナムプログラム

【参加の動機】

孤児院でのボランティア

【印象に残ったこと・感動したこと】

薬品で頭が体の2倍異常の赤ん坊を見て、言葉が出無かった。私は障害を持った子供の隣の部屋の、どちらかという健全な1~2歳児5~6人の世話をした。孤児院で働いている保育士が、騒ぐ子供たちに怒鳴って指導していたのに驚き、泣いている子がいれば抱き上げ子守唄を歌った。しばらくすると子供たちが落ち着き、中には私の腕の中で寝てしまう子も…至福の時でした！！ある日、団体で現地の大人が孤児院を訪問され、子供たちと接していたが、勝手に寝た子を起こす大人や、冷たい床で気持ちよく寝ている子供をむりやり熱い布団の上に寝かせる大人がいた。日本のようにリーダーシップをとる保育士や教育を受けた保育士がいないようだ。人のぬくもりをあまり与えてもらえない上に怒鳴られながら育つ子供の将来に、胸が痛んだが、それがホーチミンの現状。自分に出来る事をするしかなかった。

日本語学校の生徒たちは、おもっていた以上にレベルが高かった。ひらがなの短文なら楽に読んでいたし、漢字が混ざった長文読解ができる生徒もいた。初級クラスは「て、に、を、は」の使い方に苦労していた生徒が多かった。

【大変だったこと】

とにかく道路を渡る事が大変。日本と交通が逆で、しかもバイクがどこからでも突っ込んでくる。逆走、2ケツ、ノーヘルメット、歩道走行あたりまえ。クラクションで歩行者がどがされるので、覚悟しておいたほうが良い。(すぐ慣れます、笑)。勿論バイクなので、音、排気ガスもすごいです。あと、市場以外は英語、日本が通じないので、値切るような買い物は、あらかじめ紙に値段をかいて交渉するのが良いでしょう。

【楽しかったこと】日本語学校の生徒さんにご飯に連れて行ってもらったこと。兄弟9人中6人が登場。現地の色々な食べ物をご馳走になりました。スマホのgoogle翻訳アプリが大活躍したので、使えるようにしておくといいでしょう。食堂までは勿論バイクだったが、土砂降りなのにお構いなし。私はゴルフ用の上下レインコートを持っていったので顔しかぬれなかったが、もう一人のボランティアさんはずぶ濡れでした。それがとても楽しくて、その体験後、日本でも大したことは気にならなくかりました。笑

【持ち物について】孤児院では口に入らない大きさのボールや、音の出るおもちゃに子供たちは食いついていた。折り紙は日本語学校でのメモ用紙になってしまった。笑。後は上記でも書いたがスマホのアプリの為にルーターを借りていったほうが良い。個人的にマスクは普通のマスクより3Mやモルディックス社のN95（中国人が黄砂防止に使用しているマスク）使い捨てマスクを使用したいほど、排気ガスがすごい。後は日やけ止め。

【現地での服装について】

通気性の良い長ズボンにTシャツ(タンクトップでは無く)が失礼にあたらない。ノミやダニはいないが蚊がいるので肌は隠したほうが良いと思われる。Tシャツは値切って500円程度で購入可。道路が干そうされていないので、「歩きやすい」サンダルが良い

【現地の物価】

食堂のご飯:30,000ドン(150円)、屋台:15,000ドン(75円)、コンビニにコーヒー(甘いぷらっく、笑):10,000ドン(50円)、足マッサージ:90分22,000でドン(1100円)、コンビニに水:5,000ドン(25円)、ベトナムビール:15,000ドン(75円)、バス:6,000ドン(30円)

【コミュニケーション手段(言葉の問題など)について】

市場以外、日本語も英語も通じない。なのに、普通に話しかけたのは、私がベトナム人に見えるせいだろうか……

【ステイ先の情報・感想】 ホテル or ホームステイ

上階の音、ファンの音、時計の音がうるさいが、これは耳栓で対処。トイレは紙が使用できず、水で流すものだが、これはタイで経験があったので、問題なし。テレビは小さいが、英語の映画やMTVがみれたので、1週間の滞在には問題なし 建物は古く蚊はでたが、ノミやダニは出ない。毎日バスタオルも変えてくれた。。

【派遣(ボランティア)先について】 どこでどんな活動をしましたか

上記【印象に残ったこと・感動したこと】参照。

【やってみたかった事・やり残した事】

【その他、自由にご記入ください】 写真大歓迎！！

該当項目以外を消してください。

男性・女性 （ご参加時年齢） 歳代

ご協力ありがとうございます。今後のプログラムに役立てさせていただきます。